

令和4年度 教育行政執行方針



令和4年第2回定例会の開
会にあたり、占冠村教育委員
会所管行政に関する主要な方
針について申し述べ、村議会
並びに村民の皆さまのご理解
とご協力をお願いいたしま
す。

I はじめに

未だ新型コロナウイルス感
染症の収束が見えない中では
ありますが、人口減少、少子
高齢化に加え、グローバル
化、情報化が急速に進展し、
劇的な転換期を迎えているこ
のような時代の中で、私たち
は、情報を的確に捉え、主体
的に社会に関わり、新しい時
代に必要な資質や能力を身に
付けることにより、活力ある
地域社会、持続可能な社会の
作り手とならなければなりま
せん。

村民が笑顔で暮らせる持続
可能なまちづくりを実現させ
るため、質の高い教育を提供
することが重要であり、子ど
もも大人も学びを通じて輝く
ことができる生涯学習の教育
環境を一層充実させるため、
村長部局や関係機関との連携
を深めながら所管する施策を
執行してまいります。

II 学校教育の充実

教育を取り巻く環境も学習
指導要領の改訂をはじめ、G
IGAスクール構想の推進、
特別な支援を必要とする児童
生徒の増加など、例外なく、
劇的な変化を見せています。
新型コロナウイルス感染症の
拡大など先行きが不透明な中
にあって、個別最適な学びや
協働的な学びを一層重視する
教育への転換を図ってまいり
ます。

1 確かな学力の向上

新型コロナウイルス感染症
の影響により2年ぶりに実施
された令和3年度「全国学
力・学習状況調査」では、小
学校の国語、中学校では国語
数学ともに全国の平均正答率
を上回る結果でしたが、小学
校の算数において課題が見ら
れる領域がありました。

本調査結果を踏まえて、主
体的・対話的で深い学びの実
現に向けた授業改善の取り組
みを進めているところですが、
義務教育学校、小中一貫
校の強みを活かした連携強化
をさらに進め、誰一人取り残
すことのない教育活動の充実
に努めます。

できるような働き方を推進す
るため、学校閉庁日や出勤
時間の見える化、定時退勤日
の設定など負担軽減に努める
とともに、スクールサポート
スタッフなどの外部人材を活
用しながら業務の平準化や効
率化を進めてまいります。

7 教育環境等の整備の充実

村内学校施設の老朽化が進
む中、国においては、学校施
設のバリアフリー化を加速さ
せ、インクルーシブな社会環
境を整備していくことが求め
られています。
老朽化施設の計画的な改修
を進めながら、村内学校のト
イレのバリアフリー化に向け
て具体的な設計業務を実施
し、令和7年度までに全校の
整備を完了させるため取り組
んでまいります。

III 社会教育の充実

占冠村の豊かな自然環境、
歴史や文化、これまで形成さ
れてきた村民相互の「つなが
り」を礎として占冠村らしい
社会教育・生涯学習を推進
し、第7次社会教育中期計画
の目標である「『占冠愛』を
育む生涯学習」に取り組んで

研修等を実施しながら、効果
的な活用やその機能を生かし
た指導方法の工夫を推進して
まいります。

国際理解教育については、
昨年新たに着任した外国語指
導助手（ALT）を活用した
保育所と小学校の接続を考慮
した取り組みや、小中学校に
おける外国語活動および外国
語科の指導の充実を図りなが
ら国際理解教育を推進してま
いります。

4 義務教育学校・小中一貫校 の充実

トマム学校は、義務教育学
校に移行してから5年が経過
し、前期課程と後期課程のス
ムーズな接続と義務教育9年
間の学びの連続性・系統性に
基づいた学校運営をしてまい
りました。

今後も地域・家庭・学校の
相互の信頼関係を基盤に地域
の特性を生かした教育の充実
に努めてまいります。

占冠中央小学校と占冠中学
校は、平成30年度から小中一
貫校の指定を受け教員の相互
乗り入れにより小中連携に取
り組んでできているところで
すが、数年後には児童生徒数と
それに伴う教員の減少が予測
されるため、さらに連携した

2 豊かな心と健やかな体を育 む教育の推進

基本的な倫理観や規範意
識、生命の大切さや思いやり
の心、美しいものに感動する
心や自己肯定感を醸成させる
ため、「考え、議論する道徳」
授業の計画的・組織的指導や
地域の一員としての自覚を高
める心るさと教育を推進して
まいります。

また、子どもたちが生涯に
わたって健やかに生きていく
ために、全国体力運動能力等
調査結果の分析と実態把握に
基づいた体力向上活動支援、
部活動等の課外活動に対する
支援と環境整備、保護者や学
校保健委員会と連携した基本
的な生活習慣の定着と食育の
充実など健康教育を推進して
まいります。

3 情報活用能力の育成と国際 理解教育の推進

GIGAスクール構想の加
速にも後押しされ、本村の学
校における通信環境の改善、
児童・生徒一人一台端末の更
新・整備が完了しています。
これらのICT機器を最大
限に活用した授業・家庭学習
を実施し、児童生徒の学習意
欲を向上させるため、各校の
ICT担当教諭を中心に各種

